

# 不動産公売物件のお知らせ

市では、市税の滞納により差し押さえた不動産を入札によって公売しています。下記の公売財産を購入したい方は、市役所に掲示してある「公売公告兼見積価格公告」などを閲覧し、物件の明細などを確認してください。なお、公売に参加を希望される方は、事前に参加申込書の提出が必要です。参加申込書などの様式は、税務課窓口もしくは市公式ホームページからダウンロードできます。

ご不明な点は、税務課までお問い合わせください。

## 公売の対象となる土地・建物

所在地 中野市大字中野字谷地際 257 番地  
土地面積 569.82㎡（2筆合計）  
地目 宅地  
建物種類 居宅（付属建物ありだが実態なし）  
構造 木造板葺2階建  
建物面積 1階 113.22㎡ 2階 37.19㎡  
築年月 昭和9年  
交通状況 長野電鉄信州中野駅から徒歩10分  
見積価格 1,000万円

※面積・構造などは登記簿の表示です。

### 【特記事項】

- ・敷地内に未登記建物（※1）および貸看板（※2）あり（下記写真参照）
- ・上下水道完備（一部、井戸水あり）
- ・現時点では、先住者あり
- ・現所有者より「公売対象財産内に存在する未登記付属建物及び動産類の処分に対する同意書」を徴しています。ただし、未登記建物の解体撤去に際する費用は買主の負担となります。

## 参加申し込みおよび公売日程

公売方法 入札  
申し込み期限 3月13日(金)必着  
公売日時 3月17日(火) 午後1時30分 ※即日開札  
公売場所 市民会館45号会議室  
公売保証金 100万円

※参加申し込み後に、公売を中止する場合があります。

### ▼建物などの外観



## 入札に参加される方へ

入札する前に現地で公売財産の状況を確認したり、所在地を管轄する登記所で登記簿を閲覧し、権利関係などを確認しておくことをお勧めします。

問い合わせ・申し込み先 税務課収納係 ☎（22）2111（内線227）

## 広報クイズ

### ■今月のプレゼント

「中野土人形（おかめ）」  
（奈良由起夫さん制作）…2人

### 問題

北陸新幹線「はくたか」は飯山駅に上下各何本停車するでしょうか？

「●●本」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入の上、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などはがきに書いて、次の宛先までご応募ください。

締め切り 3月23日(月)必着

※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

先月号の答え 国の重要文化財に指定された柳沢遺跡出土品の数はいくつ？  
答え・・・「212点」

383-8614

（住所記載不要）

中野市庶務課  
秘書広報係 行

住所・氏名・年齢・  
電話番号・世帯主

# 市民リレー元気の輪

No. 8

小池守雄さん  
からのご紹介



## ○自己紹介

母が箏を持っており、近所の先生に習っていたのがきっかけで、私も小学1年生の頃から箏を習い始めました。最初は着物を着るのが楽しみで通っていたのですが、いつしか鈴が鳴るような箏の音色にほれ込み、中学・高校と学生時代には間を空けながらも続けてきました。

その後、社会人になり、宮城道雄先生の「春の海」や「ロンドンの夜の雨」という素晴らしい曲を聴いたことがきっかけで、さらに箏の魅力にはまり込んでいきました。

また、20代の頃に流派の発表会のステージで先輩たちが優雅に演奏しているのを聴き、「将来はこういう風になりたい」と感銘を受け、指導



本田 紀子 さん (岩船)

者を目指して本格的に箏の勉強を始めるようになりました。

今では、34年ほどの指導歴の中で、90人を超える教え子に恵まれました。

今後は教え子が伝統を継承する担い手になっていってくれるのが楽しみです。



▲市民音楽祭で演奏する本田さんら

## ○元気の秘訣

個人指導のほかに、小学校のクラブ活動や、中学校の選択授業でも箏を教えています。最初はあまり興味を持たなかったような女子が、優しく繊細な箏の音色に触れ、自分の指でその音を紡ぎ出そうと目を輝かせて取り組んでいる姿を見ると、とても幸せな気持ちになります。箏を通じての人の出会い、つながりが私の元気の源になっています。

## ○おらほの自慢

中野市は音楽に力を入れていて、発表の場がたくさんあります。洋楽であれ邦楽であれ、聴く側と演奏する側が音を通して1つになれる心地よさを、中野市ではいろいろなところで感じることが出来ます。

# 池田市長の

# わくわくレポート

vol. 19



## 新幹線開業と公共交通のこれから

いよいよ3月14日に北陸新幹線(金沢延伸)が開業する。東京と金沢が約2時間30分で結ばれ、人々の往来が増加することが予想される。

地域の公共交通は生活に密接に関係するため、いわば社会的インフラとなっており、その維持確保は重要な課題である。

この北陸新幹線を地域にとつて有効に活用するためにも、新幹線駅と地域を結ぶ、地域交通の在り方が問われる。観光客が新幹線を降り立ち、地域を巡る利便性の高い交通手段を選択できることが、駅から地域への観光客誘導の要となる。加えて地域における公共交通の課題はこればかりではない。高齢化社会を迎え、生活の足としての公共交通の整備が急がれる。新幹線開業に伴う、並行在来線のこれからもその経営を注視していかなければならない。

地域が支え、よりよい生活環境を確保し、一方では観光客の利便性をも考慮するといった、複合的課題を解決するためにも、本腰をいれて公共交通全般を考える必要がある。社会が変化変容するなかで、公共交通の必要性を再認識し、「社会的インフラ」という観点からしっかりと位置付けをする必要が今、求められており、市民のコンセンサスのもとに行政による社会的投資としての支援と市民参加を促すことによって、公共交通を維持・育成することを考えなければならぬ。



わが国の公共交通はある意味で、交通を担う企業の経営に委ねられてきた。人口減少と高齢化は利用者減につながる、経営の悪化を招き、地域がこうした経営体を支援し、維持するという構図ができあがっている。買い物や病院など公共交通機関に頼

地域全体の交通をどのように構築するかという視点から、全体を見渡し、地域が潤い、訪れる人にも地域を巡りやすい、それでいて、市民生活の利便性が確保される先を見据えた「交通政策」に本腰を入れて取り組む時を迎えている。市民の皆さんと一緒にあってより効率的で効果的な中野市の公共交通を目指したい。